



Project Summit

コーポレート・オフィサー
チーフ フィナンシャル オフィサー
フランソワ ロジェ

2013年 10月 31日

武田薬品工業株式会社

Project Summit



Project Summit

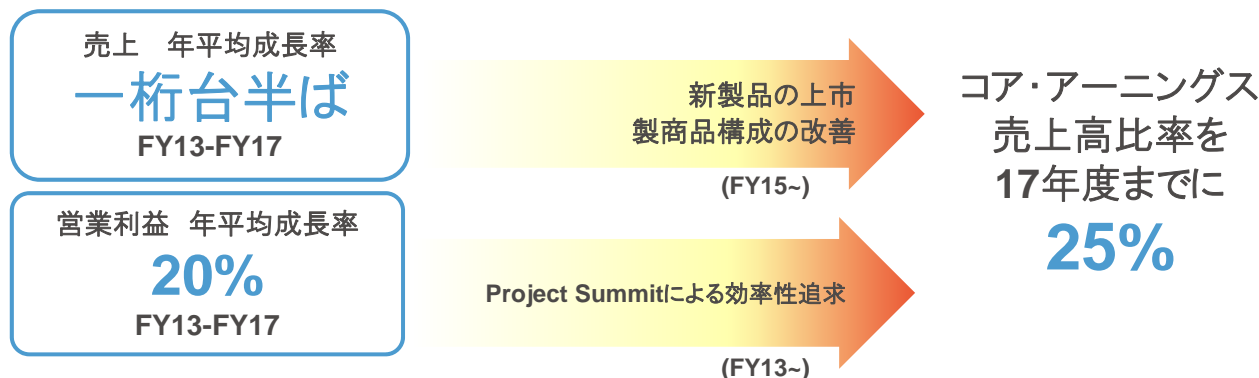
- 売上と利益の成長を推進する、あらゆるオペレーションの有効性と効率性を追求した全社戦略
- 持続的な成長と株主価値の向上を確実にする強力なパイプラインなどへの投資能力を強化
- より良い、より効率的な運営体制によるビジネスモデルの強化
- ビジネスのあらゆる側面においてグローバル競争力を強化

タケダの将来 Project Summit と中期成長戦略



- 相乗効果の期待できる大規模なM&Aを成功させ、タケダは業界で最も強力なパイプラインを有する企業に成長
- Project Summitは、先進的なグローバル・オペレーティング・モデルとビジネス・プロセスを通じて、タケダの利益率を改善し、成長への投資を加速させ、タケダの将来へ貢献

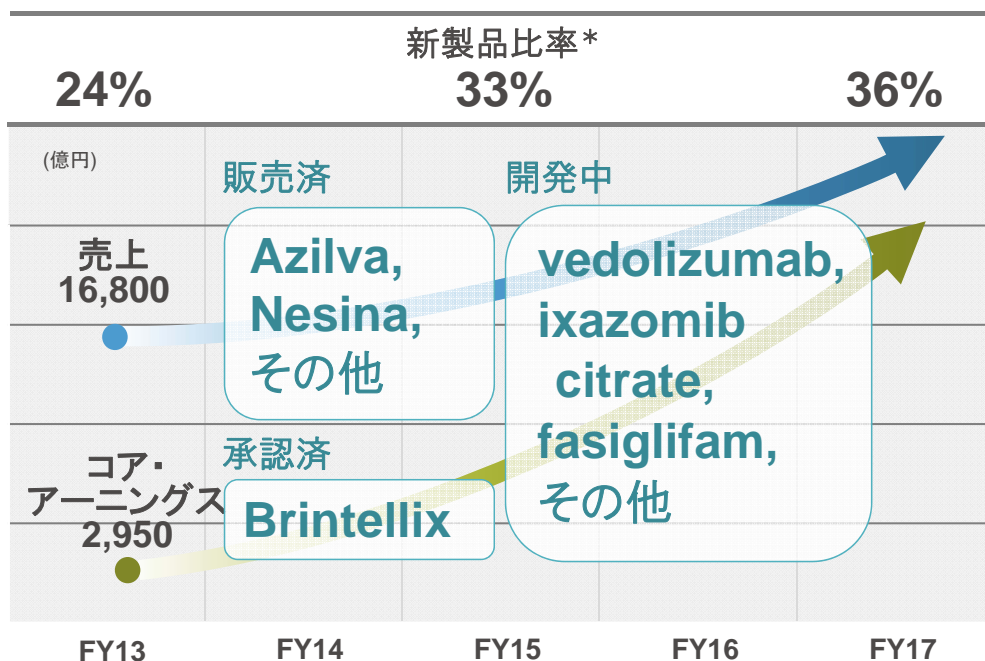
中期成長戦略



Project Summit と 中期成長戦略



持続的な成長を実現



* 日米欧市場における比率。新製品は発売後5年以内の製品



効率性を達成



Project Summitの効果を除いた当初の会社計画からの削減額であり、中期成長戦略に織り込まれている。

取り組みと目標



**SALES AND
MARKETING**

**PRODUCTION &
SUPPLY CHAIN**

**RESEARCH &
DEVELOPMENT**

**GENERAL &
ADMINISTRATIVE**

取り組み:

- ▶ 多地域で販売する国際的な主要製品について、単一プラットフォームのもと、グローバルブランド戦略を改善し、グローバルマーケティング組織を効率化
- ▶ 製品上市の効果を最大化し、顧客対応を強化する等、適切な能力を構築
- ▶ 広告代理店など、グローバルで活用するエージェンツ数を削減
- ▶ サプライヤーマネジメントを改善し、効率性を獲得するため、グローバル購買を活用

目標:



Project Summitの効果を除いた当初の会社計画からの削減額であり、中期成長戦略に織り込まれている。

取り組みと目標



SALES AND
MARKETING

PRODUCTION &
SUPPLY CHAIN

RESEARCH &
DEVELOPMENT

GENERAL &
ADMINISTRATIVE

取り組み:

- ▶ 製造拠点のネットワークを最適化し、グローバルにおける製造拠点と品質管理組織の連携を強化
- ▶ 製造能力を最適化し単価を低減するため、Operational Excellence Programを遂行することにより、製造拠点のパフォーマンスを改善
- ▶ 包装、原材料、および外部委託について集中購買を活用
- ▶ 統合されたグローバルサプライチェーンの組織を設置

目標:

経費削減(年間)

FY15

>50
億円

FY17

>100
億円

Project Summitの効果を除いた当初の会社計画からの削減額であり、中期成長戦略に織り込まれている。

取り組みと目標



SALES AND
MARKETING

PRODUCTION &
SUPPLY CHAIN

RESEARCH &
DEVELOPMENT

GENERAL &
ADMINISTRATIVE

取り組み:

- ▶ グローバルR&D組織の設置
 - Millennium社のR&D活動をタケダへ統合
 - 武田バイオ開発センターの事業をタケダに事業譲渡
 - 欧州R&D活動の統合計画を最終化、ロスキレのR&Dを閉鎖し、チューリッヒを拠点とするR&D部門を移管
- ▶ R&Dプラットフォーム機能のグローバルな統合(Pharmacovigilance、Regulatory Affairs、オペレーション、QA他)
- ▶ サプライヤー・マネジメントと効率性を改善するため、グローバル購買を活用
- ▶ 効率性を追求し、R&D費用は年間約3000億円レベルを維持(FY13~FY17)

目標:

経費削減(年間)

FY15

>250
億円

FY17

>300
億円

Project Summitの効果を除いた当初の会社計画からの削減額であり、中期成長戦略に織り込まれている。



SALES AND
MARKETING

PRODUCTION &
SUPPLY CHAIN

RESEARCH &
DEVELOPMENT

GENERAL &
ADMINISTRATIVE

取り組み:

- 財務、人事、IT、購買等の主要機能についてグローバル化を推進し、競争力を強化
- 特定の管理機能について、低コストのシェアード・サービスセンターを利用
- グローバル財務のプロセスとシステムの調和と連携強化
- ITのプラットフォーム、リソース、支出をMillennium社を含むタケダ・グローバルで統合
- サプライヤー・マネジメントと効率性の獲得のためグローバルな購買を活用

目標:

経費削減(年間)

FY15

>120
億円

FY17

>150
億円

Project Summitの効果を除いた当初の会社計画からの削減額であり、中期成長戦略に織り込まれている。

目標に向かい順調に推移



Project Summit全体像:

- 当社全体、および全世界での多岐にわたる取り組みにより、実効性を担保
- 一部の取り組みでは、政府や組合等、第三者組織との相談が必要
- 2017年度までに、一桁台前半の%で、グローバル従業員数の削減を見込む
- 全社的購買の取り組みが費用削減のカギ
- implementation cost: 5年間で800~900億円
- 13-17年度の期間において、改善効果は後半により多く発現
- グローバルな効率性、有効性を強化するため、グローバルな役割を果たすChief Information Officer や購買責任者等の採用
- 経費削減、implementation cost、従業員数の最新情報のアップデートは第2四半期と第4四半期で行う

連結全社目標:

経費削減(年間)

FY15

>800
億円

FY17

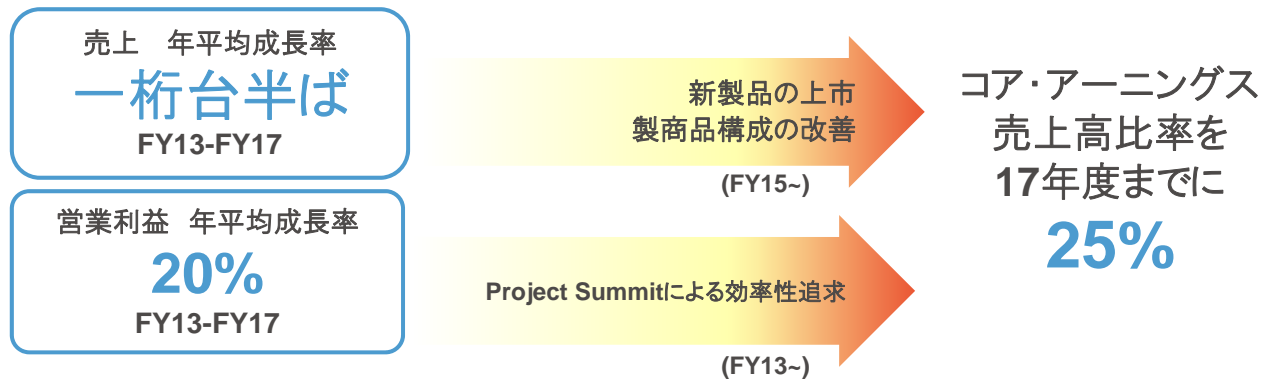
>1000
億円

Project Summitの効果を除いた当初の会社計画からの削減額であり、中期成長戦略に織り込まれている。



- 相乗効果の期待できる大規模なM&Aを成功させ、タケダは業界で最も強力なパイプラインを有する企業に成長
- Project Summitは、先進的なグローバル・オペレーティング・モデルとビジネス・プロセスを通じて、タケダの利益率を改善し、成長への投資を加速させ、タケダの将来へ貢献

中期成長戦略



Better Health, Brighter Future



- タケダの後期開発パイプラインは、豊富かつ革新的。また、短中期的な特許満了の影響は限定的
- Project Summitにより、タケダは、医薬品業界において、強力なグローバルリーダーとしてのポジションを確保できるビジネスモデルへと変革
- 中期成長戦略の実現に向け、当社のあらゆる分野を、より効果的、より効率的にし、収益性、競争力を高めるため、大胆で革新的な措置を継続的に実施
- 最終的に、Project Summitは、当社のミッション「優れた医薬品の創出を通じて人々の健康と医療の未来に貢献する」を支える

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の需要が得られない場合などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



Takeda Pharmaceutical Company Limited